

ほうらい祭り



<http://digitalarchiveproject.jp/information/ほうらい祭り>



白山信仰の宮(はくさんしんこうのみや)、白山七社の下白山四社の1社、鶴来市街地の東側山地に鎮座。創建は崇峻4年(約2100前)と伝わる。氏子は鶴来市街地を中心とする。主神は大国主尊を祀る。明治22以降合祀例令により、3社と白山麓地方の1社を合祀する。10月上旬の2日間に行われる秋季例大祭は、当社の祭りで通称「ほうらい祭り」と呼ばれる。神輿が先導し、その後、秋の収穫された野菜で飾られた造り物と呼ばれる山車や、獅子舞が街中を練り歩く。1日目は、街中に設けられた御旅所に神輿、造り物が泊り、2日目に神社へ帰る。祭り行事は、白山市指定文化財。また、かつて使用されていた江戸時代中期の六角型神輿も白山市指定文化財に指定されている。